

# 労山愛知

愛知県勤労者山岳連盟機関紙

2019年8月31日発行

No. 561号 (第51期 6号)

〒454-0055

名古屋市中川区十番町 2-8

栄和産業(株)ビル 2F

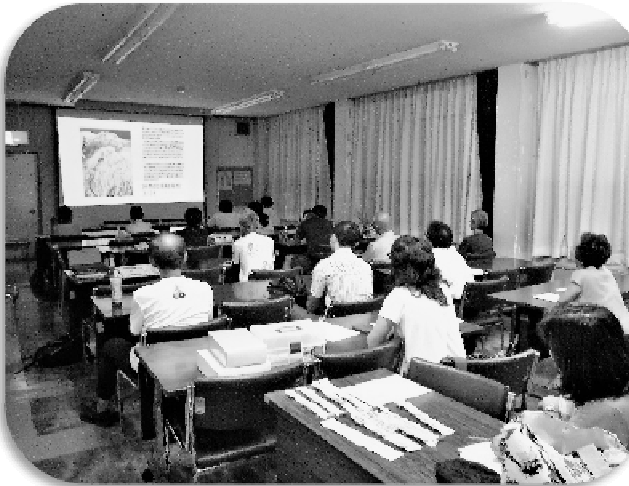
TEL/FAX 052-654-1411

<http://aichirousan.web.fc2.com/>

## 各会の会員拡大の取組み 登山講座の紹介

愛知県連では近年会員数が減少していますが、その中でも様々な工夫をして会員拡大に取り組んでいる会もあります。そうした中、一般向けの登山講座に取り組んでいる会を紹介していきます。今回はじねんじょ山の会の市民講座(2018年)の様子を紹介します。ぜひ、参考にして下さい。

### 「じねんじょ山の会 登山講座 2018」



スローガン: ・基本を学んで安全に登ろう。 ・あの山に登ってみたい。でも・・・どうしたら？  
・安全に登るためにはどんなことを学べばいいのかな。 ・仲間がいるといいな。

《目次》	各会の会員拡大の取組み 登山講座の紹介	1
	各会夏山合宿報告 山の会くらら「八ヶ岳縦走」	2
組織部	第51期 組織担当者会議 臨時 報告	3
〃	会員拡大の取組み	4
〃	平和行進 まとめ	5
教育部	7/18(木) 第5回教育担当者会議を開きました	6
〃	第51期氷雪技術講習会を開講します!(10/28~)	7
遭対部	無雪期救助訓練 実技報告	8
〃	9/13(金)、第3回遭難対策担当者会議を開きます	9
自然保護部	第3回自然保護部会開催	9
全国連盟	登山時報の購読を上げよう	10
	全国連盟の集会へ参加を!	10
	カレンダー	12

(前項からのつづき)

## じねんじょ山の会 登山講座の概要

2018年		テーマ	内容
8月22日 (水)	講座①	山に入る姿勢と計画の大切さ・歩き方とマナー	安全な登山における計画の大切さを学び、パーティーでの行動を学びました。
	講座②	登山の装備と食料	登山に必要な装備・食料についてその意味と使い方を理解しました。
8月29日 (水)	講座③	安全対策	登山の危険と安全対策・ロープワークについて学習しました。
	講座④	地図の読み方・使い方	地形図の読み方、使い方を学び、磁石を使ってみました。
9月9日 (日)	実技①	地図読み山行 (百々ヶ峰)	実際に山に登って地図読みを体験しました。
10月14日 (日)	実技②	危険個所の通過 (百々ヶ峰)	ロープワークと安全確保、危険個所の通過方法を学びました。

講座の参加人数：6名 入会者数：3名

## 各会夏山合宿報告

### 山の会くらら「八ヶ岳縦走」



【コース】八ヶ岳縦走（船山十字路～西岳～青年小屋～権現岳～赤岳～横岳～硫黄岳～赤岳鉱泉小屋～阿弥陀岳～御小屋山～船山十字路）

【日程】 8/2(金)～4(日)

【参加者】9名（50代3名、60代4名、70代2名、男性6名、女性3名）

山の会くららの合宿は5年計画で、①北アルプス南部、②北部、③中央アルプスと八ヶ岳、④南アルプス南部、⑤北部

の山行を計画しています。今年はその3年目、中央アルプス、八ヶ岳です。事前の話し合いで、9コースが計画され、今回のこのコースは中でも距離が長く、岩稜帯が多くを占めるキツイ山行と位置付けられました。ひと月前には合宿のために、富士見高原～西岳～編笠山のトレーニング山行も行われました。

#### 【状況】

南八ヶ岳の荒々しい岩峰を巡る縦走合宿、西岳への踏み跡のはっきりしないうっそうとした木立の中を歩きます。まとわりつくアブを払いながら、4時間登り続けて霧の西岳山頂へ。そして編笠山方面へ向かい、小屋手前の「乙女の水」でメンバーは水を飲み顔を洗ってリフレッシュし

ました。青年小屋には水はないですが、スタッフが元気で、食事もおいしいです。乾燥室のジェット熱風ヒーターで、あっという間に濡れた衣類が乾きました。

翌朝6時、ヘルメットをかぶって行く道は、すぐにゴツゴツした岩場や、岩石の積み上がるガレ場となりました。石を落とさないよう慎重に足を置く急登には、高山でしか見られない可憐な花々が咲きます。

権現岳で展望を楽しんだ後、キレット小屋では雲が出始めます。鎖と梯子の連続、赤岳ではもう山は霧の中、横岳付近ではしきりに鳴る雷と雨に怯えます。ですが岩を覆い尽くすコマクサの群は圧巻で、雲間に現る山並を見れば、この理想郷のような別天地に来られた喜びがこみ上げます。ここに来るための訓練の日々、そして今、年齢も経験も違う9名が助け合いながら行く合宿です。広々した硫黄岳山頂を下りれば樹林帯、12時間近くかけて着いた赤岳鉱泉では、熱い温泉が待っていました。



最終日は快晴、行者小屋からは今まで歩いてきた稜線がはっきりと見えました。見上げる阿弥陀岳の岩壁をゆっくりと登り、360度に展望が開ける雲上世界に立ちます。遠くの山々を存分に眺め、あとは景色を見ながら急勾配を下ります。長い樹林帯では、山野草に足を止めつつ山との別れを惜しみました。けがも体調不良もなく、予定より1時間早く下山することができ、素晴らしい経験となった合宿でした。

### 【反省】

- ・樹林帯でアブが多く、皆かなりさされました。虫よけスプレーは有効です。また、ステロイド軟こうで症状は軽減されました。
- ・1日目、2日目、雷雨や霧が発生しました。雷警報器が鳴る中、様子を見つつ、互いの距離を取りながら進みました。悪天で展望は少なかったですが、暑さによる体力消耗は防げました。
- ・9名のメンバーを2班に分けましたが、ほとんど一緒に歩いていました。狭い岩場や梯子では、他の登山者を待たせてしまうこともありました。
- ・長い歩行時間やガレ場などで、メンバーに疲れは出ましたが、安定した歩行ペースと適度な休憩、経験の浅いメンバーにはベテランのサポートもあり、事故なく無事に合宿を終えることができました。

## **組織部** 第51期 組織担当者会議 臨時 報告 2019年7月30日

出席者:あつた(佐藤)、アリス(大石)、春日井(弘中)、くらら(山本)、スルジェ(岩田)、同志会(吉川)、半田F(洞井)、みどり(杉浦)、8山岳会8名

### 1)一般登山講座の反省と次年度の準備状況

①今年度の反省と次年度の準備——の概要としては、下記の通り。

- \*実技山行に一般会員の参加を可とし、前年度の受講者は各会の山行として参加する。
- \*専門家を積極的に活用する。
- \*内容はハイキングABCに留まらず、各会の持てる力量・知識などは最大限に活用する。
- \*日程は、組織担当者がそれぞれの山に入れるように、全体の日程を長く取り、

間に山行の日程を確保する。——別紙案内参照。

\*実技山行の間の各会の山行に誘い、会員拡大に結び付けるようにする。

②アンケートの集計——別紙、紙面で配布。各会代表者、理事・役員には配信済み。

③第52期一般向け登山講座 案内(要綱)——別紙の通り。

\*案内策定後、宣伝などに活用する。

### [報告事項]

1) **会員拡大の取組み・対策**——昨年会員を拡大している会、減らしている会、その他、見学に訪問し教訓を得るように始めている。

2) **平和行進の参加状況**——12山岳会 40名(山岳会±0、±7名)があった事を報告。  
(参加状況、日程表配布)

3) **登山時報**——労山愛知に記事の紹介文を掲載し、購読者拡大に努めるよう準備している。

4) **その他**、——6月29-30日全国組織担当者会議。

——全国連盟理事長あいさつ、組織部長基調報告——配信済み、要旨、労山愛知掲載済。  
一般登山講座、同志会の報告 配信予定。

### [会議で出された意見など]

\*一般講座は、会員拡大の手段のほんの一つでしかない。「みんなで」やるというのはけっこうだが、はたして県連の組織部として、臨時の担当者会議を開いてまでやる課題か？いくつかの会でも講座は開かれているし、組織部として会員拡大の提起はもっと他にあるはず。

\*夏季の登山シーズンや代表者会議の準備と重なるが早めに案内を公表できるように、と会議を開催した。

\*一般講座受講料について、12,000円の設定は従来できるだけ安くと言ってきたはずで矛盾しているのではないか。

\*従来、実技山行参加費は受講料と別で徴収していたが、受講料に繰入れて10,000円にした経緯がある。気象予報士などの資格ができるなど、専門的な分野での講師を確保したいので、その捻出も必要となっている。

\*果たしてそれが必要かどうかを精査すべき。まず、一般講座で「何を伝えるか？」を全体の中で明確にする必要がある。

\*6月末の全国理事長会議での全国連盟理事長あいさつ等がPDFで送られてきているが、読むと30年以前も前の「増えているところ、そうでないところ」の経験を出し合うというやり方だけで、新しい提起はない。登山界の現状を押さえたうえで、それをどう組織化するか、という提起がなされる必要がある。

## 会員拡大の取組み

2019年8月18日 組織部

労山愛知第560号に理事長からの「会員拡大「プラス・1」の取組みを日常的に追求しよう」と題した会員拡大の取組みの訴えを掲載しました。ここに述べられている、一般の登山者が登山の基礎的な知識や技術を身につけて安全に登山できるようにする、その為にもそれぞれの会に入ってもらって教育の場に参加してもらおうと共に、登山の幅を広げ山の仲間を増やしてもらおう——こうした点でも会員拡大は必要でしょう。

今後、労山愛知の編集として会員拡大に関わる事項、各会の取組み、労山運動の理念の実践としての会員拡大などの記事を掲載していきたいと思えます。項目としては、各会などの取組み、労山の優位性、一般の登山者にとっての山岳会、山岳会の運営、労山運動の理念との関わり、など。

## 各会の会員拡大の取り組み

現在、21 山岳会の内 16 山岳会がホームページを開設しており、近年リニューアルされた山岳会もあります。若駒山岳会ではHPを見た方から入会者あり、夏合宿に向けてみんなが参加できる夏合宿を組もうと相談を重ねてきました。

一般向け登山講座では、半田Fが春に市民向け講座を開催し、犬山マップでは夏に講座と実技山行を終了しています。じねんじょ山の会は秋に登山講座開催を予定しています。それぞれの講座を通じての新人会員を迎え入れています。

同志会では今年に入ってHPを通じて 29 名の会への見学者があり、13 名の入会がありました。

春日井峠の会では、毎週水曜日に道樹山などに登り会紹介のチラシを配布して会への入会を呼びかけています。

あつた労山、くらら山の会では会紹介のカード(名刺)を作り山行の際に他の登山者に配布して入会呼びかけを行っています。

以上のように各会それぞれが工夫して会員拡大の取り組みを行っています。

## 会員拡大は山岳会にとって何時も必須事項

山岳会にとって会員拡大はどのような時にも必須事項、手放すことのできない方針と言えます。一つの会の会員は転勤・転職、引っ越し、結婚など社会的に止むを得ない事柄により一定数の退会者がでることは避けられないことです。もちろん結婚してもパートナーの理解と協力を得て登山を続けられるような関係と環境作りは必要で、会の中でもそれへの理解と協力は大切な事です。しかし、中長期的に見れば残念ながら会員の自然減は起き得ることです。山岳会の役割の一つは登山を続けられる環境・条件作りであり、自らの会の存続、つまり自分たちの登山を続けられる条件を守っていく、という点でも会員拡大の方針は絶えず保持し、実践的に追及していくべきことです。

他方山岳会は、新しい会員を迎えることにより、その人たちの指導と協力をしながら会の活性化を図ることが、従前からいる会員の活性化——登山と山域の幅を広げ、より豊かに登山を楽しむことにもつながります。より多くの会員を迎え、それに見合った方針を工夫しながら会を大きくしていくことは、ひいては自分たちの登山の幅——ジャンルや登山に対する考え方などの幅を広げ、より豊かに登山を楽しむ条件作りと言えます。このような循環関係を理解し、山岳会としての方針として確立することは必須事項でしょう。

そして何よりも新入会員の拡大は、その会員たちにとっては登山にとって基礎的知識や山の厳しさや危険、その対処法など基礎的な事柄を学び、登山の幅(ジャンル)を広げ、仲間を増やし、登山を楽しく安全に楽しむ、そうした登山者に成長する事でもあります。山岳会の役割はそうした会員を増やし、登山を楽しみ生活をより豊かにしていく人々を増やしていく、登山そのものを広げていくことです。そうした新入会員の立場に立っての会員拡大の姿勢や会運営が必要でしょう。

## 平和行進 まとめ

2019 年あいち平和行進は 5 月 31 日(金)～6 月 11 日(火)11 日間に取組み、愛知県連からは 12 山岳会 40 名が参加しました。今年は全日程に参加がありました。今年新たに 1 山岳会が地元のコースに参加されました。参加山岳会では入れ替わりがあり 12 山岳会と昨年と変わりなく、延べ参加者数では昨年比 7 名増となりました。

理事長が雨天の中地元のコースや岐阜県への引き継ぎ集会への参加、東三河山ぽ会代表参加や半田 F から地元のコースへの参加など、新たな動きも作られました。ただメインのコースの全コース内の参加までには至っていません。

来年度も平和行進参加の意義の再確認と、様々な工夫の呼びかけをしながら、全日程参加と参加者数の増加を目指して取り組んでいきます。

## 核兵器廃絶への道

核兵器禁止条約(TPNW)が2017年7月17日、国連本部にて122ヶ国の支持を得て採択されました。この条約は、核兵器使用の非人道性を根拠に、その開発、実験、生産、製造、取得、保有、貯蔵、使用及び使用の威嚇等を全面的に違法とする初の国際条約です。TPNWはこれらの禁止行動に対する援助や奨励、また、自国領域内への核兵器の配備の許可も締約国に禁じている。

核兵器禁止条約は8月6日ボリビアが批准書を国連に寄託し、この条約を批准した国は25ヶ国となりました。同条約は50ヶ国目の国の批准書が国連に寄託された後90日で発行します。ボリビアの国連大使は批准書寄託後、記者団に8月6日を選んだ理由を「原爆で命を落とした人々を忘れないため、米国による広島への原爆投下から74年目のこの日を選んだ」と説明しました。

また、同条約の署名国は今年3月末現在70ヶ国となっています。

8月6日広島市の平和記念式典が平和公園で開かれ、広島市の松井一実市長は「平和宣言を行い、各国政府に対して「核兵器のない世界の一里塚となる核兵器禁止条約の発効を求める市民社会の思いに込めたい」と訴え、日本政府に対しては「唯一の戦争被爆国として、核兵器禁止条約への署名・批准を求める被爆者の思いをしっかりと受け止めていただきたい」と述べました。

6日広島市で開かれた原水爆禁止2019年世界大会・広島大会で採択された「広島からのよびかけ」では「アメリカの「核の傘」からの離脱と核兵器禁止条約への参加を日本政府に強く」求めています。

2020年は広島被爆75年目となり、核不拡散条約(NTP)再検討会議、ニューヨークでの原水爆禁止世界大会開催など、節目の年ともなります。

## 教育部 7/18(木) 第5回教育担当者会議を開きました

日時：7月18日(木) 19時30分～

参加者：半田F(新海)、くらら(吉田)、同志会(吉川)、ありんこ(榊原)

計 4山岳会 4名

(1) 氷雪技術講習会の講師分担(案)

前回の会議結果より、氷雪技術講習会の講師分担(案)を以下のとおりとしました。

日程	テーマ	担当山岳会(案)
10月28日(月)	冬の装備と生活技術	名古屋山岳同志会
11月11日(月)	冬山の気象	半田ファミリー山の会
11月18日(月)	積雪期の行動技術	あつた(依頼中)
11月25日(月)	冬山の危険と安全対策	若駒(依頼中)
12月2日(月)	実技打合せ	
実技(テント泊) 12月14.15日(土日)	▲山城候補 西穂高山荘付近	半田F、ありんこ、あつた(依頼中)、 若駒(依頼中) 他
実技(日帰り) 1月18日(土)	▲山城候補 伊吹山4合目付近	

- ・積雪の状況により日程の延期/山城の変更あり(テント泊：八ヶ岳等)(日帰り：大日岳等)。
- ・あつた、若駒ができない場合は、昨年実施の山岳会(ありんこ)で担当する。

(2) 氷雪技術講習会の一般参加者用の案内(案)について

7/6の理事会で氷雪技術講習会への一般の方の受講が承認されました。また、受講に伴う会費も決定されました。(1,000円/1講座、3,200円/4講座セット)

連盟員の受講料は、15,000円/4講座+実技(テント泊)、5,000円/4講座+実技(日帰り)、単発での講座受講は500円です。ただし、講師料等については理事会の審議結果待ちで未定です。

### (3)教育活動の交流について

教育面での会と県連との関わり方や県連全体の教育体系についての議論をしたいという意見が出され、次回に話し合うことになりました。

次回、第6回教育担当者会議を2019年9月4日(木)に19時30分より開きますので、各山岳会・コーチ会議から奮って参加をお願いします。

## 第51期氷雪技術講習会を開講します!(10/28~)

第51期氷雪技術講習会を以下のように開講します。

講座と実技をとおして積雪期における生活・行動技術、安全対策等、雪山の基本的な知識・技術を体系的に学習します。今年度は、従来のテント泊実技山行に加え、日帰り山行で雪山を楽しみたいと考えている方を対象に「日帰り」での実技山行を追加しましたので、活用願います。多くの仲間の受講を呼びかけます。

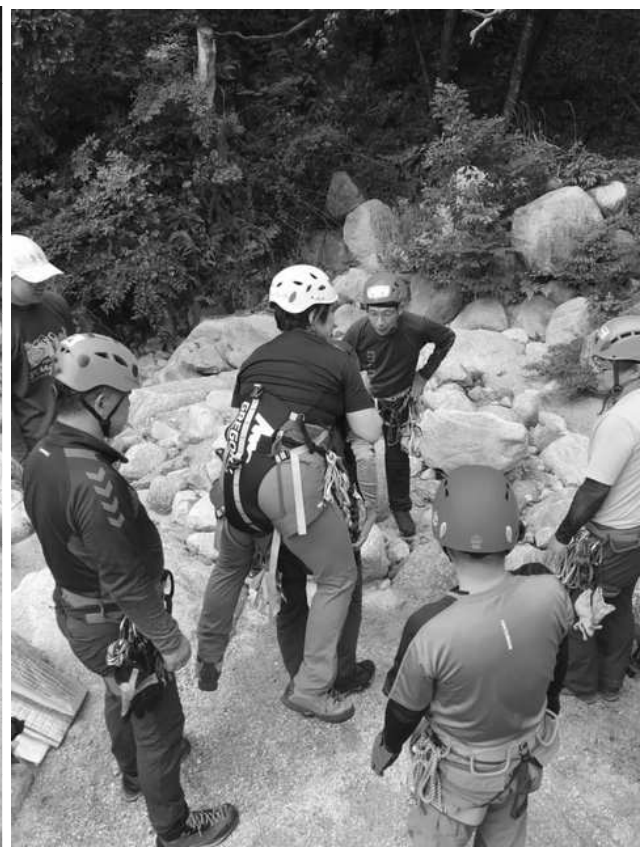
1. 対象者&定員：20名(労山基金5口以上加入、無雪期のテント泊経験者であること)
  - ・冬山の基礎技術を学ぼうとしている人
  - ・冬山登山を再開するための復習をしたいと考えている人 等
2. 申し込み方法：愛知県勤労者山岳連盟教育部 (e-mail:aichirousan@gmail.com)
  - ・10/26(土)までに氏名、所属山岳会名を明記してメールして下さい。
3. 受講料等：講座と実技はセットです。(実技の交通費は実費)
  - テント泊実技の方：15,000円(4講座+実技(テント泊))
  - 日帰り実技の方：5,000円(4講座+実技(日帰り))
  - ※全ての講座を受講した人のみ、実技山行の対象となります。
  - ただし、一部の講座を受講できなかった人は補習を行い、できる限り、実技山行へ参加できるようにします。(日程は個別相談)
4. 講座のみ受講：講座のみの受講が可能です。
  - 「学びたい」と思う講座をチョイスして聞くことができます。
  - この機会をぜひ活用しましょう! 受講料は500円/1講座です。

### 5. カリキュラム(講座は県連事務所で実施します。)

日程	テーマ	内容
講座①10月28日(月) 19:30~	冬の装備と生活技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冬山の特徴(無雪期と積雪期の違い)</li> <li>・冬山の服装/装備と使い方</li> <li>・冬山の行動食/非常食/食事メニュー</li> <li>・テント泊等の生活技術</li> </ul>
講座②11月11日(月) 19:30~	冬山の気象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・天気の基本(高気圧、低気圧等)</li> <li>・冬山の天気の特徴(夏との違い)</li> <li>・雪が降る仕組み</li> <li>・冬の代表的な気圧配置</li> <li>・冬の天気の周期</li> <li>・高層天気図の見方</li> <li>・冬の遭難事例から見た天気</li> <li>・気象情報の見方、集め方</li> </ul>

講座③11月18日(月) 19:30～	積雪期の行動技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 行動における積雪期の特徴</li> <li>• 雪面での歩行の仕方／休憩の仕方</li> <li>• アイゼン／ピッケルワーク</li> <li>• 滑落停止技術</li> <li>• ラッセル／ワカンでの歩行</li> <li>• 確保技術</li> </ul>
講座④11月25日(月) 19:30～	冬山の危険と安全対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 積雪期の事故の特徴 (滑落、雪崩、低体温症、凍傷 等)</li> <li>• 事故事例から学ぶ／事故発生時の対応</li> </ul>
打合せ12月2日(月) 19:30～	実技山行打合せ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 実技山行実施要領&amp;山行計画書から、 装備、食糧等の確認と役割分担</li> <li>• 訓練内容の確認・交通／費用の確認</li> </ul>
実技山行(テント泊) 12月14,15日(土日)	▲山域候補 西穂高山荘付近	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 積雪の状況により日程の延期／ 山域の変更(ハケ岳等)あり</li> </ul>
実技山行(日帰り) 1月18日(土)	▲山域候補 伊吹山6合目付近	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 積雪の状況により日程の延期／ 山域の変更(大日岳等)あり</li> </ul>

## 遭対部 無雪期救助訓練 実技報告



6月23日(日)御在所裏道 四の渡し付近において無雪期救助訓練実技を実施しました。参加者は27名(じねんじょ11、くらら1、あつた2、かわせみ4、半田6、若駒1、ふわく1、東三河1)。

午前は、セルフレスキューの内容として、支点構築・半マストによる下降・1/3システムによる引き上げ・事故者処置と搬送方法等をセクション毎に訓練しました。午後は、前日の救命救急法で学んだ事も加味し、事故想定訓練として、パーティ毎に事故初動から搬送までの一連を訓練しました。



事故の予防を考えるきっかけとすると共に、技術や意識の維持・向上を目的に実施しました。参加者からは事故の大変さ、自らの無力さ、出来る事に限りのあること、装備の応用でできることの多さ、継続的な訓練が重要なこと、まずは落ち着くことなど、感想があがりました。

事故は誰も遭遇するリスクがあり、そのリスクは0にはできません。しかし、そこで動ける自分と仲間である為に、訓練を繰り返し行い、自らの備えをしておきたいものです。

今後も無雪期・積雪期救助訓練が繰り返し実施されますので、会員の積極的な参加を望みます。

## 9/13（金）、第3回遭難対策担当者会議を開きます

下記の要領で、標題の会議を開きますので、担当者は万障繰り合わせの上ご出席ください。

【日 時】2019年9月13日(金)19:30～

【場 所】県連事務所

【議 題】事故報告その他

【出席者】各会担当者または代理者

## 自然保護部 第3回自然保護部会開催

日時:2019年7月18日 19時30分～

場所:県連事務所

参加者;吉田(くらら)、堀木(じねんじょ)、鋤柄・中根(ふわく)、太田(春日井)、田中(あつた) 5山岳会6名

### 1) 秋の合同清掃ハイク

春日井峠の会	10月20日	弥勒山
名古屋山岳同協会	10月27日	八曾山
みどり山の会	11月9日	物見山
じねんじょ山岳会	11月10日	
山の会くらら、若駒山岳会、あつた労山	11月17日	瀬戸海上の森

以上のように報告がありました。まだ決まっていない山岳会は時間がありますので計画を立てて連絡をお願いします。

### 2) ハルザキヤマガラシ駆除の件

今期は天候に恵まれず実施できませんでした。今後は、日程等を決めないで各山岳会での対応できないか検討をお願いします。

### 3) 今後の清掃登山について

8山岳会より意見・要望を貰いました。『歴史があるので今までのように鈴鹿山系で実施したい』『御在所岳では、オーバーユースになっているのではないかな。一般登山者に迷惑をかけているのではないかな』『ゴミが無く、清掃活動の達成感がない』『山頂集会の目的が分からない』『愛知の山でやりたい』等です。今後はこれらを検討してより良い清掃登山ができるように進めていくことを決める。

## 全国連盟 登山時報の購読を拡げよう

全国連盟発行の登山機関誌「登山時報」があります。「登山時報」は会員に役立つ登山情報、具体的には登山事故情報、海外登山情報、老若男女に通じる情報、装備、衣類、遭難を避けるための情報などを豊富に提供することに努め、「会員拡大につなげていくこと」目指しています。(※) 県連としても購読者拡大の方針を掲げています。

登山機関誌としての登山時報の購読する会員を増やして、登山の情報を得る一助にすると共に、事故防止などに役立てて下さい。

最近の記事では、リレー連載「山での事故を防ごう——山行中のひざ痛と脚つき」で、ひざ痛発生のメカニズムやその予防方法などについて、山筋ゴーゴー体操の石田先生が書かれています。

(6月号)

「山の文化遺産めぐり」では福井県足羽山ビジターセンターの紹介で、笏谷石でできている足羽山の自然環境についての紹介(6月号)と、地球の営みを実感・生きた火山島・伊豆大島と題して、1986年11月15日の伊豆大島火山噴火の様子や伊豆大島の自然環境、三原山登山と火山観察、伊豆大島火山博物館の紹介がされています(7月号)。

今後、「登山時報」の記事の紹介を掲載しながら、購読拡大を呼びかけていきます。

(※ 2019年6月地方連盟理事長・組織部長会議基調報告より)



## 全国連盟の集会へ参加を！

### 「全国女性交流集会 in 和歌山」 — 和歌山から 新たなつながりを

「全国女性交流集会 in 和歌山」が全国連盟主催(女性委員会担当)、和歌山県勤労者山岳連盟の主管により開催されます。

全国の登山会員が一同に集い、安全登山、誰もが楽しめる登山のために登山技術の交流など全国の地方連盟で取り組まれている経験を交流すること。そして、登山における女性特有の課題や悩みなどを率直に語り合い、全国の仲間が情報交換できる集会の場とすることを目的にしています。

集会の開催日程や内容等は下記の通りです。メインの講演では講師プロフィールにあるように、登山が人体にもたらす効果——、登山の人体生理学と興味ある内容が期待できます。各会よりは是非参加ください。

- 日時 2019年10月26日(土) 13:00開会～27日(日) 12:00閉会
- 会場 和歌山県和歌山市 紀三井寺ガーデンホテルはやし(宿泊所)  
住所: 和歌山市紀三井寺673 JRきのくに線・紀三井寺駅より徒歩5分
- 参加費 11000円 (1泊2食 交流会費付き)
- 参加対象 登山会員及び全国の登山者
- 講演 豊田 ふみよ 氏「登山で輝く女性たち」 —登山がもたらす生理効果—

#### 【日程】

10月26日(土)

13:00～開会あいさつ 日本勤労者山岳連盟 理事長 浦添 嘉徳 他

13:10～13:30 基調報告 全国女性委員会 委員長 久保 典子

- 13：30～15：00 講演 豊田 ふみよ 氏  
 15：20～17：40 地方連盟からの活動報告、 後、夕食・懇談・交流会  
 10月27日（日）  
 8：00～11：20 分科会—女性と登山—  
     A 登山における女性の課題（自立、トイレ問題等）、  
     B 新しい登山形態は？  
     C 事故を起こさないために  
 11：30～12：30 各分科会の報告・閉会

#### ☆講師；豊田ふみよ氏のプロフィール

- ・1958年京都生まれ、大阪育ち。・奈良女子大学院で理学修士取得。
- ・早稲田大学で博士（理学）取得。  
現在奈良県立医科大学で医学生に人体生理学の脳・神経科学分野を教えている。  
研究は生殖行動のメカニズムの解明。
- ・軽登山歴は17年。標高3000m前後の山に登るようになってからまだ7年。  
6年前、奈良県勤労者山岳会に入会した際、会員の皆さんの若さと健康的な美しさに感銘を受けた。以後、登山が人体にもたらす効果に俄然興味がわき、登山の人体生理学について日々学んでいる。

## 「若手のためのクライミング講習会」募集

若手クライマーの育成を目的に、秋の小川山でクライミング講習会全国連盟主催で開催されます。「技術レベルの向上を図りたい」「クライミング仲間を増やしたい」「日頃の腕を試したい」、やる気のある方はぜひご参加下さい。

- ・日程…10月19日（土）～10月20日（日）
- ・場所…小川山・廻り目平周辺（宿泊は川上山荘 電話0267-77-7645を予定）
- ・対象…若手のやる気のあるクライマー（50歳くらいまで）
- ・参加費…実費のみ（「川上山荘」一泊二食7,000円ぐらい、現地までの往復交通費）
- ・参加講師…日本勤労者山岳連盟所属の講師5名

#### [主なスケジュール]

- ・10/19…8:00 廻り目平下の無料駐車場に集合、顔合わせ・装備確認～廻り目平周辺でクライミング。夕方終了後、懇親会（川上山荘泊）
- ・10/20…数パーティに分かれてマルチピッチルートを登攀、夕方終了、反省会后解散。

上記2件、申し込みは各会理事又は県連盟HPまで

【編集後記】台風で遠くの山の計画を中止にされた方も多かろうと思います。しかし、こうも暑いと近くの低い山にはなかなか行く気になれないなあ・・・などと考えながら、昨年夏の夏の気象データを見ていたら、最高気温が38℃を越えた日がなんと9日もありました。今年はまだ一回もありません。去年はどんなに暑かったんでしょう！（事務局 井土）

## Schedule 2019

9月			10月			11月		
1	日		1	火		1	金	
2	月		2	水		2	土	
3	火		3	木	女性のつどい⑦	3	日	
4	水	教育担当者会議⑥	4	金		4	月	
5	木	女性のつどい⑥	5	土		5	火	
6	金		6	日		6	水	
7	土	登山学校実技 C10	7	月		7	木	女性のつどい⑧
8	日		8	火		8	金	遭対担当者会議④
9	月		9	水	教育担当者会議⑦	9	土	全国登山学校交流会
10	火	組織担当者会議⑥	10	木	理事会⑬	10	日	全国登山学校交流会
11	水		11	金		11	月	氷雪技術講習理論②
12	木	理事会⑪	12	土		12	火	
13	金	遭対担当者会議③	13	日		13	水	
14	土		14	月		14	木	教育担当者会議⑧
15	日		15	火		15	金	
16	月		16	水		16	土	
17	火		17	木	自然保護部会⑥	17	日	
18	水	自然保護部会⑤	18	金		18	月	氷雪技術講習理論③
19	木	理事会⑫	19	土	全国クライミング講習会	19	火	
20	金		20	日	全国クライミング講習会	20	水	
21	土		21	月		21	木	組織担当者会議⑦ 自然保護部会⑦
22	日		22	火		22	金	
23	月		23	水		23	土	
24	火		24	木		24	日	
25	水		25	金		25	月	氷雪技術講習理論④
26	木	代表者会議準備	26	土		26	火	
27	金		27	日		27	水	
28	土	全国ハイキング学校	28	月	氷雪技術講習理論①	28	木	理事会⑮
29	日	各会代表者会議	29	火		29	金	
30	月		30	水		30	土	
			31	木	理事会⑭			

ご意見、ご要望・投稿・写真などはメール、または県連事務所あてに郵送してください。

<http://aichirousan.web.fc2.com/> e-mail:aichirousan@gmail.com